放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日　令和8年11月6日（金）

2、開催場所　燕三条エフエム放送

3、委員の出席　8名

・委員総数　8名

・出席者氏名・・・長谷部直美委員長、瀬戸明委員、野崎ミチコ委員、遠藤愛子委員
西山丈基委員
（レポート提出）堀越巌委員、諸橋美香委員、酒井貴輝委員

4、議題
（1）「ワイワイ女性ひろば」（毎週金曜日　11:00～11:30放送）
9月25日(金)放送分
テーマ「7.13水害から22年」～経験を活かすこととは～ 『伝えゆくことについて』

長谷部委員長
出演者同士の自然な会話から地域の話題や日常生活の役立つ情報が親しみやすく伝えられていると感じた。特に女性ならではの視点で地域の出来事や暮らしの話題が取り上げられており、リスナーが共感しやすい番組構成になっている。出演者の明るく和やかな雰囲気が番組全体に親近感を与え地域密着型の番組であると感じた。
特に印象に残ったのは、楽しい先に命拾いできるような放送を心掛けているという言葉や、面白くないと聞いてもらえないというところからラヂオは～とのユニットが誕生したなど燕三条エフエムの根幹を伺えたところ。
一方初めて聞く方にも内容がより伝わるよう話題の背景や地域情報について簡潔な説明を加える場面があるとさらにわかりやすくなると感じた。
今後も地域で活躍する方々の紹介や子育て、健康、地域活動など身近なテーマを取り上げることで幅広い世代に親しまれる番組になることを期待している。

瀬戸　委員
ラヂオは～とで力を入れている「まさかの時に安心を」ということを心掛けている点は改めて考える機会になった。
残念だった点は話の中で出演者のお嬢さんの話をして実際被災された生の体験を語る人がメンバーに入っていたら良かったのかなと思う。
良かった点はゲストの水防学習館、館長がすごくわかりやすく丁寧に説明されていた点に感銘を受けたので、もう少し放送時間があればさらに良かった。
リクエスト曲がかかって終わるかなと思ったら、会報の話題になり、その内容もとても良かった。充実させる為には、せっかく防災も兼ねた中で伝えていくこととしては、実体験者がいるともっと良かった。

野崎　委員
　私も出演している番組が今回審議対象となり、ほかの出演者ははっきりお話しされているのに自分が話しているのを聞くと何話しているのかわからなかったので少し反省している。
4回番組の中の1回の放送でしたので他の3回も聞いていていただけるとより理解できるのではないかと思う。

西山　委員
　ゲストの水防学習館、館長や他のゲストのかたの話がもっとあった方が良かったかなと思う。皆さん仲が良いのはよろしいと思うが聞いている側からすると身内だけでやっているなという雰囲気も感じられた。ただ耳障りが悪いという事ではない。そういう番組なのだと思えばそのように聞ける。

遠藤　委員
　ワイワイ女性ひろばは4月から9月は三条、10月から3月までが燕のグループでやらせてもらい20年近くたつ番組です。私たち燕のグループはメンバーが大変歳を重ねてきてしまって不安材料が多いですが、三条のグループの進行役が素晴らしい。
　燕は今まで災害がない地域でしたがこれからはわからないので、今回の話は参考になった。水防学習館があるのが素晴らしいと思った。
　今回のはなしは大変勉強になりました。最後の高齢者は外に出ましょうという話もとても良かった。

堀越　委員
　番組全体のトーン＆マナーは家の茶の間での“茶話会のような雰囲気”で気楽に聞くことができた。7.13水害という重たいテーマでも「説教的でもなく、押しつけがましくもない」トーンで進められていて好感を持った。
　出演者（体験者）からのリアリティのある話は説得力があった。なかでも「ここから先家を建てるな」の石碑が移設されていた。地元の言い伝えでは「堤防が切れる」→「切れても大丈夫」→結果、水没した。や保育士さんが自身の経験「水害の話」を園児たちにしている。という内容が印象に残っている。
「防災意識の醸成といざという時の行動が悲惨な結果を避けることに繋がる」ということをいろんな場面で「伝える」必要性を改めて感じた。良い番組だった。

諸橋　委員
「井戸端会議」の中にいるような錯覚をしてしまいそうな距離感が、本当の井戸端会議には入りたくないけれど、のぞき見をしてみたいという欲求を叶えてくれる番組だと感じた。
　堅くて重いテーマながら、生活の中のエピソードを「気持ち」に着目して進行されており、つい「わかる～」「そうだね～」と共感しているうちに、あっという間に終わった。否定や押し付けが一切ないところもとても聞きやすかった。
　進行役の方が「伝えることで消化していく」とおっしゃられたフレーズが刺さり、単なる井戸端会議で終わらせないところがさすがだなと思った。

酒井　委員
　全体を通して、参加者の皆様がとても聞き取りやすい声質、会話スピードで安心して聴くことが出来た。
　自然災害が激甚化する現代において、「まさかの時に安心を」という局の理念と価値に深く共感した。
　三条市に気象防災アドバイザーがいらっしゃる事を初めて知り、青年会議所で防災をテーマに扱うこともあるので、その際に協力依頼を検討してみたい。

自身も高校時代に7.13水害で被災し、当時の惨状は鮮明に覚えてはいるものの、普段から防災について意識しているかと言われるとそこまで出来ていなかったと改めて認識した。本テーマを拝聴し、災害を経験している身だからこそ、経験していない世代に語り継いでいかなければならない、語り継ぐ機会を大事にしなければならないと感じた。まちづくりに携わる青年会議所として、今後有事の際には、市民の皆様に先駆けて動ける意識、体制づくり、協力できる関係性構築に尽力していく所存だ。

(2)その他　次回の番組審議委員会の日程について
次回開催は、1月下旬予定したい。

5、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容方法及び年月日
書類のエントレンスホールへの備置き　令和　8年　11月　16日(月)
自社 HP 上に記載　令和　8年　11月　16日(月)

6、その他、参考となる事項
特になし。